



自分を信頼できる力

——生徒たちの頭に金の角は生えているかな——

そんな気持ちで受験期を迎えた3年生を見てきました。「金の角」とは、『金の角持つ子どもたち』（藤岡陽子著）に登場する塾講師の加地(かじ)の言葉です。加地は言います。「極限まで努力し続けた子どもたちには、二本の硬く、まっすぐな角が生える。決して諦めることなく闘ってきた者だけが戴く、金の角が見える」。その角とは、ひたむきな努力に裏づけられた自信であり、身につけてきた実力の総体を意味するところのものです。角に大小こそあれ、保護者の皆様や担任にはきっと見えているはずです。

一方、受験の合格は水物です。金の角があるからと言って絶対ありません。当然、突破が最大の目標ではありますが、大切にしたいことは他にもあります。「不合格になったからといって、何かを失うわけではない。……合格発表後には、ただあの子が積み重ねてきた努力だけが残ります。合格、不合格、そんな判定とは関係なく、あの子がここまで頑張ってきた時間が残るんです」——。これも加地の台詞なのですが、琴線に触れます。慰めの言葉ではありません。大人がこのことをわかっていないと、時として子どもを傷つける投げかけをしてしまうことがあります。その戒めの言葉としてとれるのです。

3年生の心に本格的に火が点いたのは2学期の初めだったでしょうか。緊急事態宣言の最中でしたが、自分たちで放課後の学習会をスタートさせ、学びの補充に努めていました。また、肝心の授業では、コミュニケーションによる課題解決を目指し、タブレットを器用に扱いながら熱心に対話する様子が散見されました。さらに、行事等での主体的な活躍も含め、学校生活での頑張りは他に引けをとらないと自負しています。これまでに身につけてきた広義の「学力」はどれほどでしょう。先月中旬には、全校態勢で3年生の面接指導にあたりました。ご多聞に漏れず3年生の取組は真剣そのもの。練習とは言え、どの生徒もかなり緊張した様子で、自分の考えを精一杯伝えようと奮闘する健気な姿が印象的でした。非日常的な場面で緊張と向き合い、自分の力を発揮できるのもまた大切な力です。自分を信頼できる力と言ってもよいかもしれません。そして、その力は、将来必ず自らを助ける武器となります。これまでに身につけてきた様々な力を発揮する場——。それが受験です。

ともあれ、すでに受験を済ませた生徒もいますが、3月に控えた3年生の健闘を心から祈っています。冒頭で触れた書籍は、本校の橋本司書が推薦してくれたものです。大人が自分の人生を振り返りつつ、子どもの人生にどうかかわっていったらよいのかという指針も与えてくれます。是非、ご一読あれ。 <文責：校長>

☆いよいよ学年末・・・ 一年間のまとめの時期です



【総合的な学習の時間】

3年生は、SDGsの観点から「ゴミ問題」「町づくり」「観光」「少子高齢化」について追究してきました。実際に市役所の方からも助言をいただき、中学生ならではの視点とアイデアで市への提言としてまとめています。

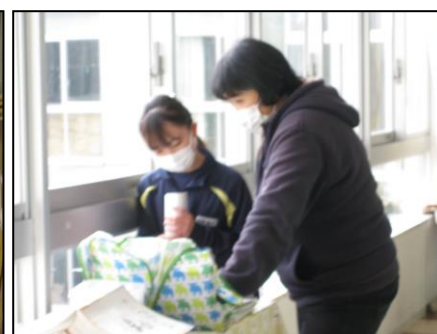


*学校図書館で関連資料を調べたり、よりよい提言となるようにグループで真剣に話し合ったりする姿が頼もしい3年生！

【学習相談&学年末テスト】

テスト前の学習相談では自分でワーク等に取り組み理解が不十分なところは先生に質問して解決します。1年生も中学校のテストに慣れ、こつこつと学習を重ねることができるようになってきました。

2年生は、もうすぐ3年生になるという自覚をもって勉強に取り組み始めています。学年末テストでしっかり自分の力を確かめました。



*まずは、自分は、何が分かっていないのかを知ること。分からないところを何とかして分かるようにすることが勉強の基本です。



*テスト本番で、自分の力を100%発揮することも実力のうち！

☆安全なインターネット利用を

インターネット利用は、今や私たちの日常生活に欠かせないものです。一方で、子供たちのインターネットに起因したトラブル、犯罪被害、いじめ、ネット依存症等の問題が懸念されています。学校では、今後も折に触れて情報モラル等の指導をしていますが、ご家庭においても、ぜひ子供たちのインターネット（SNS、オンラインゲーム等）の利用状況を把握し、トラブルの未然防止に努めてください。よろしくお願いします。

参考：県教育委員会「わが家のケータイ・スマホルール」

- ①フィルタリングの利用義務
- ②友達を傷つける書き込み×
- ③スマホ等の使いすぎ×
- ④ネットで画像や動画を公開するときは注意
- ⑤情報を見きわめる
- ⑥法律を守る

※詳細は県教育委員会 HP 6つのルールの解説や話し合うポイントなども掲載しています。